

保護者・地域の皆様

八王子市立山田小学校

校長 橋本 哲也

令和7年度 後期学校評価結果並びに学校回答の公表について

6, 12月に実施しました学校評価アンケートに御回答いただきありがとうございました。アンケート集計結果に関しまして、以下の通り御報告いたします。

皆様のお声を真摯に受け止め、山田小学校の教育活動の一層の充実をめざし、学校改善に努めてまいります。来年度以降の教育課程に活かせるものについては計画に反映させてまいります。今後とも御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

【保護者向けアンケート】

◆回答数・・・前期 73 件 後期 137 件（前年度後期 67 件。回答数約 204%増加）

【結果の概要】

- 前後期両方において肯定的評価90%以上の項目は【項目 1,4,16】
- 肯定的評価80%以上の項目は【項目 1～4,7～10,12,13,15,16,18】
- 肯定的評価80%未満の項目は【項目 11,14,17】
- 「否定的評価（3・4）」が30%を超えた項目は【項目 17】
- 「分からない」が30%を超えた項目は【項目 6,14,17】

【学校考察・回答】

- 肯定的評価の高かった項目については、現状を大切にしながら、教育活動のさらなる充実を図ってまいります。
- 「いじめ防止、対応の取組」「特別支援教育の取組」「各学年におけるキャリア教育」「学校運営協議会の目的や取組」について、学校だよりやホームページの学校日記を通して周知するなど、具体的にどのような取組をしているのか、くり返しにお伝えしてまいります。

【自由意見へのご回答等】

- ・5年生の総合的な学習の時間、開かれた学校、教育活動の見直し等への肯定的なご意見、とても励みになります。ありがとうございます。
- ・運動会・音楽会アンケート、また、その他 HP 等で回答済みの内容は、当該の回答をご確認ください。
- ・お子さんの教育についての最終責任者は「保護者」です。学校の教育活動に関心を寄せていただき、ご不明な点、ご心配な点がありましたら、その芽が小さなうちに担任等にご相談ください。教育活動については、主に学校 HP にて情報発信をしていますが、事前にご連絡の上、いつでもご参観、ご質問にご来校ください。
- ・教育委員会より、小中一貫は第七中学校グループとなっていますが、青少対等では、横山中学校グループとの連携も一層大切にしております。
- ・不審者対応については、①警備員の常駐、②学校及び学区域に防犯カメラの増設を市に求めています。登下校については、不審者対応の指導を繰り返ししてまいります。登下校時の地域の見守りについては、保護者、地域の皆様のお力添えをお願いいたします。
- ・今年度、体力テスト結果をお伝えできておりませんでした。大変申し訳ありませんでした。1月中を目

途に、学校より紙面にてお渡しいたします。

- ・質問 19、20 の内容は、学校・ご家庭・地域社会で連携をして子どもたちに育みたい力と考えていることをお伝えしたく、後期より追記をしています。次年度以降、これらの項目の肯定的な回答が一層高まるように教育活動や情報発信を行ってまいります。
- ・保護者の皆様に分かりやすい情報の先行発信を行ってまいります。
- ・山田小学校の二次避難場所はめじろ台東公園を想定していますが、ここを使う可能性があるのは「雨でないこと」、「山田小学校校庭に留まらないこと」の条件が重なった場合のみですので、二次避難場所を使う想定はほとんどないと考えています。荒天時に山田小学校に留まらない状況がある場合の二次避難場所としては、第七中学校や八王子市教育センター、富士森公園等を柔軟に活用いたします。大災害時の子どもたちの避難の状況は、災害伝言ダイヤル（使える場合は HP・H&S 通知）にてご確認ください。
- ・Home&School の欠席連絡機能の中に、連絡帳としての利用機能を設定しています。勤務時間外の連絡にご利用ください。学校が確認できるのは、原則翌登校日の朝になりますことをご了承ください。
- ・算数習熟度別指導では、自己調整能力を働かせて自身の習熟度を選択できるよう指導を進めてまいります。
- ・5 年生の総合的な学習の時間では、地域活動を充実させることができた一方で、バケツ稲の取組を充実させられませんでした。指導内容の精査を行います。
- ・漢字検定は教育課程に位置付けられないものとなります。令和 8 年度は、希望家庭が漢字検定を受検できるよう、学校運営協議会、PTA、近隣小中学校と協議をし、結果を新年度にお知らせいたします。
- ・授業に向かうことができていない児童のご家庭とは、今後も個別に連携を図ってまいります。
- ・今年度の運動会と音楽会の日程変更は、①運動会練習期間の熱中症対策と②教員の指導体制確保が理由です。
- ・水泳指導等では、学校で測定をする熱中症指数を参考にしながら、規定に沿って実施の有無を判断いたします。体育に不参加の児童については、健康管理を最優先として待機場所等を検討してまいります。
- ・令和 8 年度は、2 学期末の個人面談は設定する予定はありません。しかし、個別の面談はいつでも行うことができますので、担任等にご相談ください。
- ・学級経営上重視するものは、担任の裁量となっております。学級便りを柱とする教員、児童とのかかわりや自主学習・家庭学習指導を柱とする教員、学習指導力を柱とする教員等様々です。よいものは教員相互に学び合い、自身の指導に生かせるよう教員内で連携、研修を充実させてまいります。
- ・「恐怖」「怒り」による指導は誤りであると断言いたします。子どもが自身の課題や改善点を理解できる指導を全教員が行ええるよう、研修を繰り返しながら指導力を高めてまいります。
- ・学習における自己調整能力を高めるための指導は、学級による差が出ないよう、学年・学校全体で意図的・計画的に進めてまいります。
- ・アンケートの DX 化には、できる限りご協力いただきますようお願いしたいところですが、PC の文書作成ソフトで入力の上プリントアウトしたり、手書きでご記入いただいたりして学校までご提出いただくこともできます。
- ・教育の目的である「人格の完成」のために、他者意識・仲間意識・コミュニケーション能力等の「非認知能力」の指導を大切にまいります。
- ・今年度は、5 年生の家庭科では、被服分野を手縫い→縫製の順で行い、並行して調理実習を行いました。調理実習前にエプロンづくりまで終えるのは難しいかと考えます。

【質問事項への回答内容の推移】

前期→/後期（単位：％）

	質問事項	肯定的評価	否定的評価	分からない
1	学校の教育方針（すすんで学び合う子ども・思いやりのある子ども・たくましく生きる子ども）を知っている。	90→90	7→7	
2	学校が力を入れて行っている取組「すすんで学び合う子ども」について知っている。	83→84	14→12	
3	本校が第七中学校・第五小学校・第七小学校と一緒に行う取組（小中一貫教育の日）について知っている。	82→85	12→11	
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	96→98	3→1	1→1
5	学校は「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通じて、子供が自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるよう教育を進めている。	79→89	7→5	14→6
6	学校は、いじめの未然防止への取り組み、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	63→81	5→4	32→15
7	学校では、分かりやすい授業が行われている。	82→82	4→7	14→11
8	学校は、授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。	80→81	4→4	16→15
9	学校は、子どもの学習活動に対して適切・公平な評価をしている。	81→80	2→2	17→18
10	学校は、子どもの生活指導（生活態度・行動などへの指導・助言）に適切に取り組んでいる。	86→86	3→4	11→10
11	学校は、子どもが自分のよさに気付き、将来に向かって生き方を考えられるように指導している。	64→77	9→2	27→21
12	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	88→87	7→7	6→7
13	学校は保護者に対して、ホームページや学校便り等を通じて適切に教育活動を伝えている。	89→96	8→3	3→2
14	学校は、特別支援教育を充実させ、個に応じた支援の工夫を行っている。	52→64	10→8	38→28
15	学校は、保護者や地域と連携・協力しながら教育活動を行っている。	89→93	4→1	7→7
16	学校は、体力の向上（運動会・水泳・体力テスト・なわとび・持久走等）に取り組んでいる。	96→91	0→5	4→4
17	学校運営協議会の活動について知っている。	34→49	23→31	43→20
18	子どもは、楽しく学校に通っている。	92→89	5→11	3→0
19	わが子は、苦手なところもふくめて自分自身のことが好きだ。（後期新設）	71	20	9
20	わが子は、自分の行動はまわりの人に流されることなく自分自身で決めることができる。（後期新設）	58	36	6

【保護者自由意見】

最初に、子供達への教育、日々の取り組みに感謝いたします。様々な保護者がいるので、学校の取り組みは賛否両論あるかと思いますが、今年度は音楽会と運動会が入れ替わったのが何故なのか説明が足りないと感じました。また、音楽会のくじ引き座席については、後ろだから我が子が見えない、というのは分かるのですが、最前でも子供が見えない配置になった場合、どうにかできなかったの？という声を聞きました。くじ引きって難しいなと思いました。今回の運動会では、受付は保護者証をしているか、リボンをしているか、というところの確認だけだったので、名簿の紛失などの心配もなく、スムーズに行えて良かったと思います。働き方改革や時代等により変更点が多い年になり、ネットや配布プリントに目を通してはいますが、全部覚えきれなくて申し訳ないです。が、先日の運動会であったように、プリントを読み規則を守っている保護者がいる中、禁止されていることを堂々としている保護者をきちんと注意して欲しいと思います。その為には、保護者に注意喚起している内容を、先生方をはじめ、補助の先生方達もきちんと配布資料に目を通して、職員全体で把握しておかなければならないと思います。職員の方々も、保護者の方々も一緒に歩み寄って必要な規則は周知していかないといけないと思います。特に、ルールを設けたのであれば、設けた側の責任は必要かと思っています。来年に向け協議重ねて、より良い方向へ向かうことを期待しています。

学校の中まで情報を把握していない。よりよい学校づくりとは、学校の中の先生たちと子どもたちの世界のように、保護者が介入する必要もない気がします。私は子どもたちの声と考え方から聞いてわかる範囲なので、学校の中で何をしているのかは把握していないのが現状。先生の視点、子どもの視点、保護者の視点によって考え方やニュアンスも違うのでわからないところはたくさんある。保護者は学校に丸投げしているところあれば、いろいろ言う人もいるだろう。とある国の公立学校で学校との差が問題になっているニュースは見る。例えば、私立でもない公立の学校でも平等の教育どころが先生の質や設備の差があり人気がある学校に転校希望を制限したりしている。転入したい場合は高額な資金を出すことによって転校許可ができる問題が絶たない。教室、廊下の隅すみまで防犯カメラがあり、風紀、いじめなど対策はあるようでした。保護者は教室オンラインカメラで様子を見ることのみ観覧できる。ただ、海外と日本国内ではどのようにするのかはわからない。よりよい学校づくりとは何か、経営者のように考えるのか、保護者を巻き込んで欲しいのか、意見が欲しいのか、いろいろあるだろうと思っているところ。

いつも子どもが大変お世話になっております。●●については嫌がることもなく登校できています。●●については日々先生方お友達に助けられて登校しています。2年前は正直こんなひどい学校あるのかと思いましたが、今は八王子で一番いい学校なんじゃないかと思います。先生方があたたかい。学校も今年に入り校舎内校庭などきれいになったと思います。あと山田小だけではどうにもならないと思うのですが、めじろ台2丁目は選択区域で山田小に入学しています。中学は桐田中学だけが優先です。山田小と七中が連携校なのに山田小を卒業しても優先的に入学できないことが、子供たちと親は不安です。教育委員会には去年よりめじろ台2丁目のお母さんたちと連絡していますが今年も改正されていないようです。校長先生や副校長先生には相談済みですが、七中か横山中どちらでもいいんですが、、、(学校評価と違う内容ですみません)。●●は泣いたりして暗い顔で登校していますが、今の山田小で不満があるならどの学校行っても不満不安だらけだよ、と話しています。本人もわかってるそうです。そのくらい今は学校に不満などはありません。

- ① 不審者対応について 今回不審者が校内敷地内に入ることは本当に危険です。安全でかつ子どもたちが安心して学習できる環境を早期に対応してもらいたい。今回は放課後活動で起きたことで、先生たちの管轄外だと思いますが、不審者対応について再度見直しをしていただきたい。今回のことで子どもが学校に行くのが怖くなり、人帰りが不安になっています。
- ② 学校行事について来年度、展示発表になると思いますが、6年生の最高学年にはまた別で発表できる機会をつくってほしい。学校行事の精選は必要だと思うが、最高学年の子どもの成長を見る機会として音楽会や学芸会などの毎年開催してほしい。
- ③ 5年3組のめじろ台テラスの活動についてとても素晴らしいと思います。先生もお忙しい中色々子どもたちを考え行動に移していただきありがとうございます。

体力テストの結果が、以前は紙ベースでいただけてたと思いますが、昨年廃止されたのでしょうか？結果はどのようにしたらわかるのでしょうか？

19.20の解答の仕方がいまいまいちよく分からない。Iを好きとした場合で解答している。他についても言葉は知っているが、具体的にどんな事をやっているのかというのが不明。子どもから聞く事は難しいので分からない解答が多くなる。

ハケ岳移動教室、写真から現地の様子がわかり、更新通知が楽しみでした。たくさんの更新ありがとうございます。総合の学習、新しい取り組みで試行錯誤なのかな？と思いますが、イベントが土曜ということもあり、もう少し早目にお知らせが欲しかったです。子どもは楽しみに準備をしているので、イベントが成功し、良い経験になりますよう願っております。一方で、従来の稲の学習ですが、育ちが悪かったのも含めて、作物を育てる大変さが学べる機会なのではないのでしょうか？やりっぱなしになっているようで、少し残念に感じています。

様々な取り組みをありがとうございます。暑さ対策、寒さ対策も柔軟でありがたいです。

先生方いつも本当にありがとうございます。毎年意見として書かせていただいておりますが、運動会の大玉転がしを高学年選抜者のリレーに変えてほしいと願っております。ぜひご検討いただければと思います。

山田小の二次避難場所はどちらでしょうか。いつもお聞きしようと思って、失念してしまい、こちらに失礼します。

楽しく学校に行けること、安心してあずけられます。また、友達との関わりで嫌なことも、ケンカもありますが人とのコミュニケーションを学ぶ良い機会でも大人も学ばれます。たくさんの事に挑戦しつづけられるのは、先生や周りの友達のおかげだと思っています。

いつもお世話になっております。学校の電話対応が16:45までですが、今はフルタイムで働くお母さんも多いので、その時間までに連絡を出来ない人も少なくないと思います。私自身もその一人です。16:30までの仕事ですが、仕事後にすぐ電話してみても通話中で繋がらず、つながった時には留守電に切り替わってしまった事もありました。わざわざ電話で話さないでもメールでのやりとりも出来るようになったらありがたいです。欠席連絡のようにメールでやり取りが可能になれば、お互いの都合のいいタイミングで確認も出来ますし、電話を取り次いでもらったりという手間も省けると思います。今後、ご検討頂けると助かります。宜しくお願いいたします。

いつもお世話になっています。先生方も明るく常に全力で、とても感謝しています。子供も毎日学校へ行くのを楽しみにしています。

先日保護者会で、来年度からの朝学習の話がありましたが、一律にミライシードを使っでの学習に統一するのではなく、各自がやりたい学習にしていだけないでしょうか？自己管理のもと自宅で用意したものをやっても良いということにしてほしいです。また、学校全体で個々の学力差がかなり生じているように感じています（アクティブラーニング等今の教育はわかるのですが、義務教育で身につけるべき最低限の基礎学力は身に付けないと、時代の変化に対応する大人になことは難しいのでは？）。家庭学習がきちんとできている子については、算数の時間など手持ち無沙汰の時間が生じてしまうと聞いています。習熟度別も希望でクラスを選べることから、名ばかりになってしまっているように感じています。実際「あ」のクラスに算数の苦手な子もいて、授業がわからず進まなくなるという話も聞いています。そこはある程度は基準をもうけた方が良いのではないのでしょうか。また、以前は山田小でもやっていたと聞いておりますが、年に一度でもいいので、学校にて漢検を受けられるようにしてほしいです。ボランティアで当日の手伝いもまかなえるかと思うのですが。市内の他校では開催しているところもあるようですし、もちろん希望者のみの受験でよいと思います。子供も合格に向けてモチベーションもあがりやすし、基礎学力の向上にもつながるかと思います。ぜひ前向きにご検討宜しくお願い致します。また、五年生で行っている稲ですが、今年はよくわからないまま終わってしまっていたので（自主性に任せ決まった子しか世話をしていない状況）、育てるならきちんと世話をする、責任を持って育てられないならやらないということも、我々大人達が子供達に指導すべきことではないのでしょうか。やるならばバケツ稲をクラスで1つ、皆で最後まで面倒を見るのもいいかと思います。きちんと最後までやることの方が、途中でほったらかしよりもはるかに良いかと思うので。厳しい意見を申し上げましたが、一意見として受け止めて頂ければ幸いです。本年度もお世話になりました。次年度も宜しくお願い致します。

子供が毎日楽しく学校に通っている、苦手のところも含めて自分自身のことを好きです。

学級閉鎖でも学校に行きたいというくらい、登校を楽しみしています。今後もよろしくお願いします。

授業中騒いでいる子がいるようなので、みんなが落ち着いて授業を受けれるようにしてほしいです。

音楽会と運動会の日程が変更になった理由を知りたいです

今年から、遠足が中止になったことを、子供たちはとても残念がっています。授業で出かけ給食までに学校へ戻るのと、近場でもお弁当を持って友達と食べるのとでは、子供たちの気持ちが違うのではないかと思います。

学校は楽しく通っています。気になるのはプールなど夏の暑い日の野外の授業です。酷暑の中でも行っていたようにおもいますが、今後も同様でしょうか。

校長先生から送られてくるお便りがとてもわかりやすく、勉強になります。しっかり学校の役割と保護者の役割を明確に示していながらも、決して押し付けではなく、あくまで子どもにとって何がいいかという視点を大事にしているところがいいなと思っています。親としても身が引き締まる思いです。また話は違いますが、2学期保護者会をなくし、個人面談、もしくは三者面談をやって頂けたらと思います。1人1人の子どもを保護者とともに色々な情報を共有しながら育てていくためにはコミュニケーションがとても大切だと思うのです。ご検討のほどよろしくお願いします。

姉のクラスでは1週間毎にクラスだよりが発行されクラスの雰囲気やどう言った指導をして頂いてるのがよく伝わり安心しています。妹のクラスに関しては1回もクラスだよりはなく、クラスの様子が全くわかりません。子供から伝えられる話だけを鵜呑みにする訳にもいかず、同じクラスのお母さんと情報交換したりしています。週1とは言いませんが、子供たちの様子やクラスで取り組んでいる事など知ることができる手段があると大変嬉しいです。

5年生の家庭科についてです。調理実習のためエプロンの用意（購入）をした後に、エプロンの縫製のために新しく購入依頼のお知らせがきましたが、順番を逆にはできなかったのでしょうか。もしくは後日、学校で縫製のエプロンの購入があることを伝えてほしかったです。

学級閉鎖の連絡を該当クラス以外に全体に通知していただけるのは助かります。インフルエンザ等の流行りの感染症なども教えていただけると、家庭でも体調管理に気をつけていこうと思うので助かります。いつも先生方が一緒に問題を解決しようと取試行錯誤してくださるので、ありがたいです。

:子供の勘違いや失念に対して強い叱責や突き放すような対応になる事があり、罪悪感や劣等感を強く感じる事がありました。勘違いや失念に対して現在も恐怖を強く感じているようです。指導の方向性が、反省や改善策よりも罰(罪悪感)を与える事が目的になっていると感じました。学校側から先生方の権利等を主張するのは重要であり、積極的にするべきだと思います。ただし、他者の権利も尊重する義務があり、一方通行であってはならないと思います。 ※今回の記述については、一部の先生に対しての内容です。

パワーアップタイムがなくなったりと、自主的にやれる子供もできない子供の差が出て来ってしまう不安があります。勉強が得意でないと自ら苦手なものに取り組んだりする事もできるのかも疑問です。親も高学年になってくると得意不得意を言わない子供もいたりどこをフォローすればいいかもわからないので、ある程度クラスに大きな差が出ない取り組み方は希望したいところです

いつもお世話になっております。教科担任制や習熟度別クラスなどにより、多くの先生方と接する機会がたくさんあるため、中学校に進学しても、全ての教科で先生が違う、という環境に早く慣れやすいのではないかと思います。ありがとうございます。SNSの利用につきまして、学校の関わり方について明確化(明文化)しておくことは大事だな、と思いました。今学期も子供は落ち着いた学校環境で過ごしていたと思います。クラスメイトの皆さんが意欲的に学習やイベントに取り組む姿をみて、自分もがんばる!とよく話しています。すてきなクラスにまとめて下さっている●●先生、本当にありがとうございます。三学期もどうぞよろしくお願いいたします。

校外での宿泊学習の時に写真付きで細かく報告があり、どんどん更新してくださり様子がよくわかりました。学校での活動や子ども達の頑張っている様子は担任の先生が毎週発行してくれる学級通信で詳しく知ることができ、それを元に子どもとの会話も広がっています。このアンケートの質問19、20は子どもの自己肯定感や自己決定力に関わるものなのかもしれませんが、今まではなかった項目だと思います。学校での指導や教育が影響するとは思いますが、それ以外の要因も多いので、この結果が学校評価と直結するとは考えにくい気がしました。

以前はクラスによって保護者に伝わる情報に差異がありましたが、校長が変わって情報共有や相談がしやすくなった。参観などを通して、先生方の子どもへの言葉掛けや指導内容などに差を感じた。幸い今までの担任の先生は丁寧で良かったが、来年以降に不安を感じてしまう。働き方改革など背景は様々あるのは承知していますが、八王子市内で行事などにバラ付きがあり比べてしまう。学校生活では、社会性や特別活動などに期待をしているので、是非山田小でも①遠足の再開②音楽会、学習発表、展示会を3年間で回す→音楽会、学習発表会を隔年を検討していただきたい。6年生で展示会は、数少ない大勢の人前でみんなで共同する達成感を味わう機会がなくなってしまうのは悲しい。行事の精選で午前中の運動会と時間がない中ですが、高学年だけでもリレーを取り入れて欲しい。自由記述がスマホだと文章が見辛く、入力しにくい。

子どもが毎日『学校を休みたくない』と言い、楽しく通えていることから、先生方の見守りの中で安心して学校生活を送れているのだと感じています。いつもありがとうございます。

今年の4月に船引副校長先生、10月に橋本校長先生がいらしてから、これまでの管理職を含む先生方が築かれていらしたに加えて、様々なことが改善されている気がする。学校の雰囲気が悪くなった。音楽会や運動会でも、生徒達だけでなく、先生方もイキイキされているように感じた。学校の方針や線引きが明確になりわかりやすい。結果以上に、子供達の過程に注力し、頑張ったことを伝えているのは、とても大切だと思う。運動会の感想で書き忘れてしまいましたが、エイサー終了して、児童席に戻った時に、一人の低学年の子が、3年生はよくあんな躍りをして恥ずかしくないのかと話していたそうで、それを聞いた一人の3年生が1・2年生だって変な振り付けがあったと言葉を返していたと耳にした。どの学年も、大変に素晴らしく感動して帰宅していたので、子供達のあいだで、そのようなことがあったと知り、悲しい気持ちになった。大人だろうと子供だろうと、思考や好みの違いはあって当たり前だが、一人一人得手不得手もある中、一生懸命頑張っていることや、頑張ってきたことに対して、リスペクトし合える言葉や気持ちを心がけることも大切だと思う。なかなか他学年の取り組みまで詳細を伝えるのは、時間的にも難しいかもしれないが、自分達の学年に誇りを持ち大事にするのと同じように、他学年や他者に対しても、敬意をもっていくあり方を育てていけたらいいと思う。そのあり方は、子供達が山田小を卒業した後も、それぞれの進路に進み、大人になっても、自分も回りも幸せに生き抜く上での力になると思う。ボランティアで子供達に関わらせて頂く時には、より一層そのあり方を心がけて、子供達の笑顔や幸せを守りたいと思う。子供達の幸せのためにも、まずは大人が、学校、教職員、保護者間でも、敬い合うあり方が大切なのだと思う。子供は大人の

鏡。運動会の子供達の出来事を通して学ばせて頂いたことを、自分には何が出来るかを問いかけながら実践していきたい。多様な考え、成長速度も違う子供達を預かり、決められた時間内にやらなくてはいけないことが多い教職員の皆様も大変だと思う。大人も子供も、立場に関係なく、同心円のように互いに支え合い、守り合っていくあり方を大切にしたいと思う。支離滅裂な文章で、失礼しました。

いつも子供達を支援していただきありがとうございます。

・10月から新しい校長先生が着任して、副校長も今年から山田小と言う事もあり、学校が明るく、色々な面でよい方向に変わって行ってる気がします。・去年までは学校日記や学校からの配信が非常に少なく、学校の様子が見えなかったのですが、最近は学校の様子が細かく知れて保護者としては有り難いです。・三学期からは学校公開も土曜日に行うとの事で、それも働いている保護者が土曜日に来校できるし、月曜日振り替えも、平日にお休みがある事は児童にとっても新鮮で嬉しい事だと思います。月曜日振り替え休日がある近隣の小学校を羨ましく思っていました、三学期からその様な体制にしてくださる事は有り難いです。・毎年クラス変えをするとの事で、これもハッキリと決めてしまえば色々と言う保護者も減ると思います。今までクラス変えをしない学年があったので、変えて欲しい、変えないで欲しい、と言った声が上がったと思うので、この決まりも色んな面でプラスにもなると思います。・漢字検定を学校で開催する事はできないでしょうか？最初からの立ち上げにはなるかと思いますが、これも近隣の小学校ではやっている学校が多数です。準備等のボランティアは集まると思いますし、学年の最後に総復習も兼ねての漢字検定を学校で開催する事によって、勉強への意欲や興味、意識等が少しは上がって行くのでは無いかと思います。・算数のクラス分けについてですが、自分が希望したクラスに行けるシステムでは、本来の進度別クラス分けの意味が無くなってしまっているのではないのでしょうか？そこはテストの点数、授業の態度含め、ある程度は教師が振り分けても良い所では無いか？と思います。パワーアップタイムに居る児童が、一番進みが早いクラスに居るのを見て、実際にそのクラスの中では計算も大変だったり時間がかかったりしていたので、本人も周りと比べられて苦しくなるのでは無いかとも感じました。

産休育休の関係で、担任の先生が変わるということがあったが、本当に子どもひとりひとりをよく見てくださる先生で、出逢えてよかったなと思っています。それとは別に、フォローアップタイムなど 学力の面で遅れをとっている生徒のフォローは、学校としてしっかりされていると思う反面、それらをクリアしている(理解している)生徒にも、焦点をあててもらえると さらに充実するのではと思いました。同じことを繰り返して、暇をしてしまう。などが回避できるのではないかなと感じました。

保育園の友人がほばいない中での進学で不安を覚えていましたが、先生方や上級生、同級生に恵まれ、楽しく学校生活を送れているように感じ安心しています。困ったことをなかなか自分から言い出せず涙になってしまうことも多い我が子ですが、温かくじっくりと受け止めてくださっていることでだんだんと自分なりに思いを出せるようになってきていると感じ、担任の先生をはじめ、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。いつもクタクタになって帰宅するので、もう少し体力がつくといいなと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。